

令和元年度 第4回天竜区協議会

次第

日時：令和元年7月25日（木）

午後2時00分から

会場：天竜区役所 21・22 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 事

（1）協議事項

天竜区地域力向上事業（助成事業）の提案について【資料1】

（2）その他事項

地域課題について

5 その他

（1）浜松市自主運行バス北遠本線、阿多古線の運行について【資料2】

（2）次回開催予定

日時 令和元年8月27日（火）午後2時

会場 天竜区役所 21・22 会議室

6 閉 会

【資料 1】

第9号様式

區 協 議 會

区 分	☐ 諮問事項 ☒ 協議事項 ☐ 報告事項
件 名	令和元年度地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	地域力向上事業は、多様な主体が対等な立場に立ち、相互に活躍する取り組みを通じて住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業。 ○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業
対象の区協議会	天竜区協議会
内 容	・広報はままつ、市HPなどで広く募集している「令和元年度地域力向上事業助成事業」に、2件の応募があった。 ・これについて、行政推進会議の審査を経て、2件の採用候補事業を選定した。 ・採用候補とした事業について、天竜区協議会のご意見をうかがうもの。 提案数 2件 採用候補とした事業 2件
備 考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)	・区協議会の意見を参考に、後日、区長が採用する事業を決定。
担当課	天竜区振興課

令和元年度 地域力向上事業

市民提案による住みよい地域づくり助成事業
(追加募集分)

事業提案書

令和元年7月25日

天竜区協議会

令和元年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

No.	事業名	提案者 (コミュニティ担当職員)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	事務局意見（実施要綱の該当要件）		採用の可否	補助限度額（円）	

(提案書 p5～11)

	浜松スカイランタン祭り	スカイランタン実行委員会(竜川ふれあいC)	新規 50%以内	1,162,000	342,000
1	天竜区にはキャンプ、ドライブ、ツーリングなどの観光スポットなどが多彩にあるが、近年注目が集まり、全国各地で開催されているイベントを天竜区内で開催することで、市内外の方にこれまで以上に天竜区の魅力を知ってもらうことにより、今後の交流人口を増やしていく。		日時：9月21日（土）午後3時～ 会場：旧竜川中グラウンド （予備日 22日、23日） 内容 1. スカイランタン※詳細資料別途添付 2. 地域の方々と天竜の特産物の販売（花桃まんじゅうや気田川の鮎の塩焼き、いのしし汁など）		
	【実施要綱第3条（6）に該当】 1. 提案団体は、自治会や地域の団体と連携を図っている。 2. 遊休施設（旧竜川中グラウンド）を活用し、かつ区内ではこれまでにないイベントを開催することで、地域の活性化が期待できる。 3. 地域の物産展を同時開催することにより、天竜区の PR 及び地域の特性を活かしたまちづくりが期待できる。		採用が適当である	581,000	

No.	事業名	提案者 (コミュニティ担当職員)	区分 補助率	概算事業費 (円)	交付希望額 (円)
	事業の目的		事業の概要		
	事務局意見（実施要綱の該当要件）		採用の可否	補助限度額（円）	

(提案書 p 12～16)

2	Love Farmers Conference 2019	LoveFarmersConference 実行委員会（春野協働 C）	継続 40%以内	3,000,000	1,200,000
	田舎暮らしや地域づくりなどに興味のある親子や学生、農的暮らしを実践する人々が全国から集い、春野地域在住者との地域を越えた交流の場とする。また、天竜区の豊富な自然を活かし、地域社会を創造する知恵を得て、実践するための仲間づくりの機会とする。		日時：8月30日（金）～9月1日（日） 2泊3日 場所：春野山の村 内容 1. 各地域の先進的地域おこしの事例紹介や持続可能な林業経営手法の紹介など、暮らしの質の向上を目的とした各種講座やワークショップ 2. 地元の食材を使った料理体験教室等 3. 地元の産品を出店販売するマーケット		
	【実施要綱第3条（1）（6）に該当】 1. 提案団体の構成員は、地域団体ともつながりが強く、また前回の事業実績がある。 2. 昨年の継続事業であり、事後評価も高い。 3. 各地域の先進的な地域おこし事例や活動事例のノウハウなど新たな要素を中山間地域に還元することで、地域コミュニティの活性化が期待される。 4. 地元産の農産物や地元農家、林業家を協力者として事業展開を行うことにより、地域の特色を十分に生かすことが期待できる。		採用が適当である		1,200,000



第1号様式 (第6条関係)

事業提案書

令和元年6月10日

(あて先) 浜松市長

所在地 [REDACTED]
団体の名称 スカイランタン実行委員会
代表者役職・氏名 梅 美由紀
連絡先 Tel. [REDACTED]

次のとおり、事業を提案します。

事業名	浜松スカイランタン祭り
実施時期	令和元年8月1日(木) ~ 令和元年9月30日(月) イベント開催日時: 9月21日(土)15時~ (予備日22日、23日)
実施場所	浜松市天竜区旧竜川中学校校庭及び竜川運動公園
概算事業費	1,162,000 円
参加予定人数	団体スタッフ 30名、参加者 300名
事業の目的	*何のためにその事業を実施したいのか具体的に記入 天竜区にはキャンプ、ドライブ、ツーリング、観光スポットなどがあり、人気イベントを開催することで市内外の方に天竜区の魅力を知ってもらい、今後の交流人口を増やしていく。
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	*内容がわかる詳細資料を別途添付 ・全国各地で開催されている人気イベント「※スカイランタン」を実施する際に天竜特産物の販売を地域の方々と一緒に行い天竜区を食・観光の面でアピールし、多くの人に天竜区を知るきっかけとしたい。 ※詳細資料別途添付 当日特産物の販売では、花桃まんじゅうや気田川の鮎の塩焼き、いのしし汁などを予定。
事業効果	*その事業に取り組むことによって、区民がどのような効果を受けるか。 ・共に作業を行う事で、皆が主体的になり、かつイベントでの感動を分かち合う事により地元の子供も大人もより大事にする気持ちが大きくなる。 ・区外の人達が天竜区へ興味をもち、休日に家族や友人と再度訪れるきっかけとなり交流人口が増え、モノが動き新たな経済が生まれる。
備考	

裏面に続く

第2号様式(第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位:円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	342,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	1,162,000	

2 支出の部

単位:円

区分		予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費			
賃金		154,440	スタッフ 30 人(1 人 858 円 : 6 時間)
旅費		33,160	スカイランタン指導者交通費 8、9 月 2 回分 (8,290 円×2 人×2 回)
需用費	燃料費	6,080	ガソリン(発電機用)@152 円×40 L
	花火費用	200,000	花火 (イベント修了の合図と演出)
役務費	保険料	50,000	催事保険
	広告宣伝費		
	広告宣伝費		
委託料		58,320	駐車場警備費 (@19,440 円×3 人)
使用料及び賃借料		160,000	竜川中学校駐車場利用料 3,000 円 野球場・照明使用料 2,000 円 発電機 15,000 円 プロモーション撮影機材レンタル料 30,000 円 仮設トイレ(2 基) 80,000 円 音響機材レンタル 30,000 円
原材料費		500,000	ランタン(紙風船、LED ライト等)410,000 円 ヘリウムガス (7,000m l×2 本) 90,000 円
計		1,162,000	

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

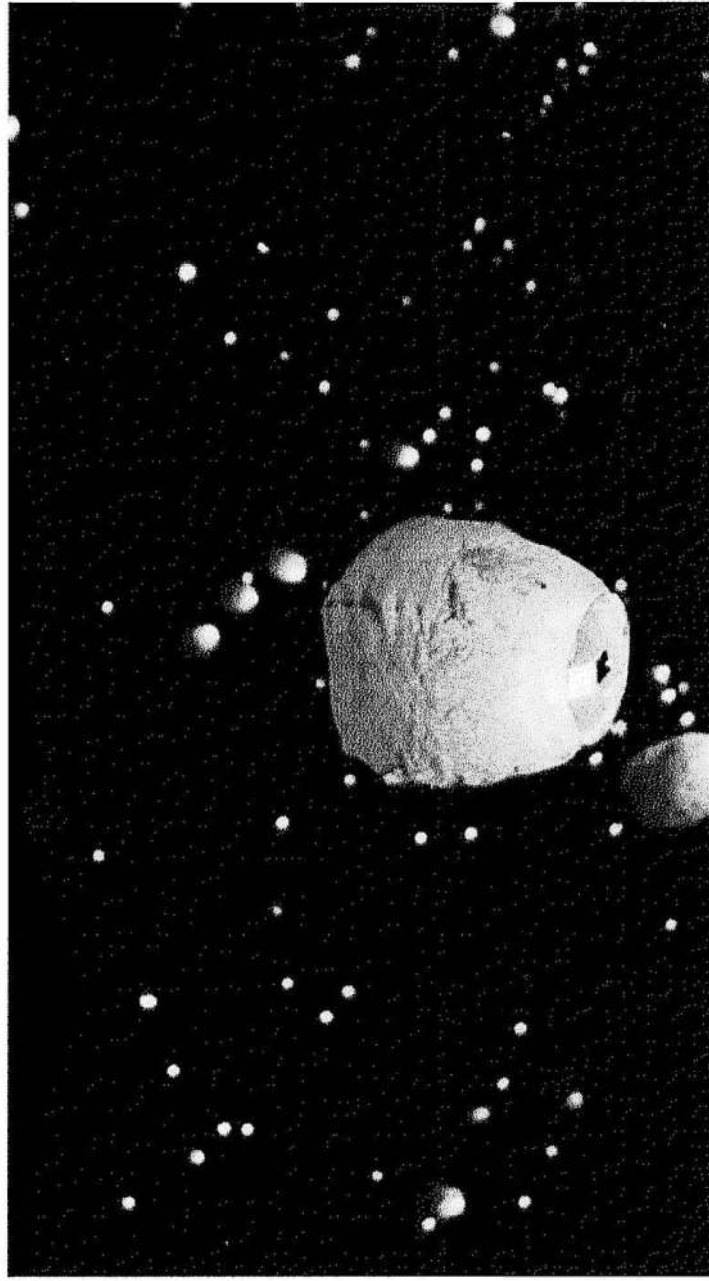
団体名	スカイランタン実行委員会		
事務所の所在地	(専用事務所 ・ 住居兼用 ・ その他)		
	電 話		FAX
	ホームページ	http://cafe-de-clark.jimdofree.com/	
代表者役職・氏名	梅 美由紀		
担当者連絡先	氏 名	梅 美由紀	
	電 話		
	F A X		
	Eメール		
設立年月日	2016年9月3日		
会員数	30人		
団体の目的	地域振興と地場産物の活用及びPR		
主な活動内容	地域振興や地元の物産、観光の発展のためSNSなどを利用し情報発信を行っている。		

※必要に応じて、団体の詳細がわかる資料を別途添付

スカイランタン打ち上げ

浜松市天竜区PR計画

世界中でブーム！ランタン祭り開催！

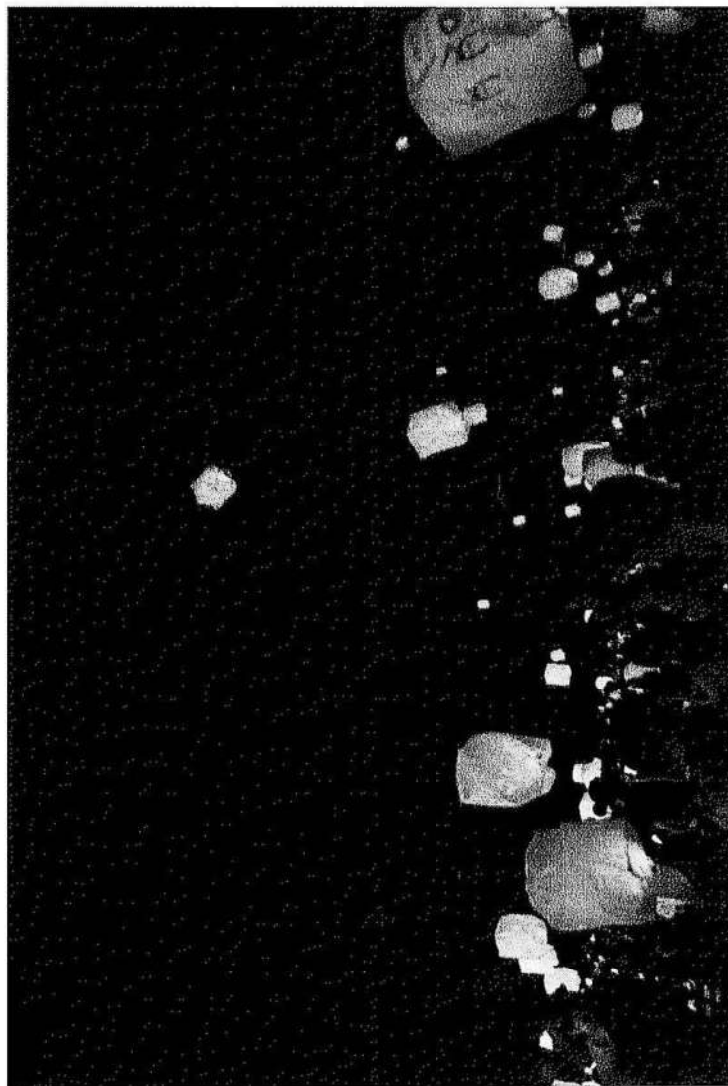


中国やタイで主に盛んなスカイランタンは近年世界各地で人気上昇しており、その人気の波は着実に日本にも流れています。

米国で大人気のイベント「ランタンフェスト」は2016年に日本にも初上陸し、100組の応募枠に対して28万組の応募が殺到したといいます。

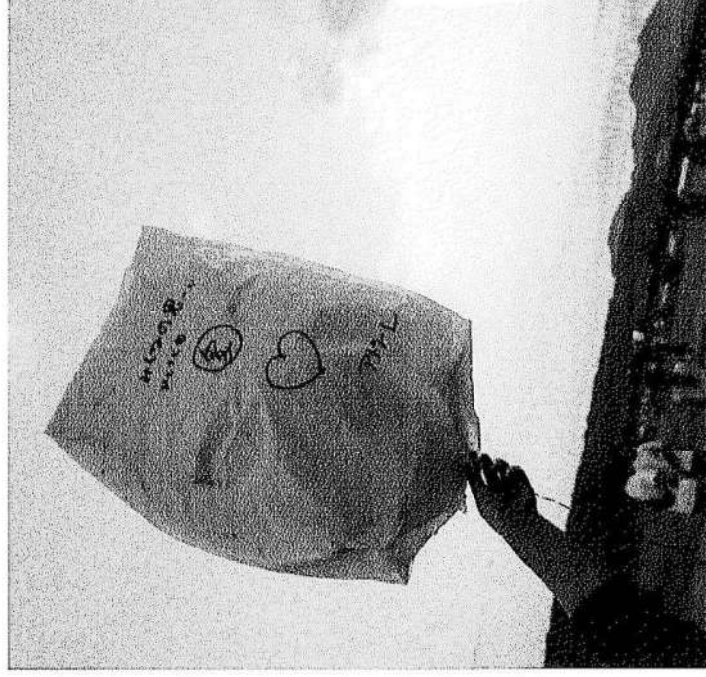
ディズニー映画「塔の上のラプンツェル」でも重要なシーンで登場することから、国内でもその知名度は少しずつ大きくなってきています。

天竜区の商品などをPR



人が集まるところで、天竜区の商品などをPRし、天竜区を知ってもらおう機会を作ることが目的です。浜松市外や静岡県外からどのようなようにして人を集めるか。それがこのスキャンイベントとなります。

問題は無いか？



海外では火を使いますが、LEDのスカイランタンを使うことにより危険性はほぼありません。スカイランタンに黒い糸をつけることにより、遠くへ飛んでいくことなく、打ち上げ後はゴミにならないよう回収します。前回はほとんどの方々が記念に持って帰られました。

※詳細は「スカイランタンとは」の資料を確認下さい。

事業提案書

令和元年5月27日

（あて先）浜松市長 様

所在地

団体の名称 Love Farmers Conference 実行委員会 ㊤

代表者役職・
氏 名 理事（共同代表）金子美登

契約担当理事（共同代表）天野圭介

会計担当理事（共同代表）八田謙太郎

連絡先 TEL

次のとおり、事業を提案します。

事業名	Love Farmers Conference 2019
実施時期	令和元年8月1日 ～ 令和元年11月30日
実施場所	天竜区春野町杉943-1 春野山の村
概算事業費	3,000,000 円
参加予定人数	団体スタッフ 30名 、参加者 500名
事業の目的	天竜区は今、大変多くの問題を抱えている。手入れされずに放置された山々は土砂災害の温床となり、農地は耕作放棄され害獣の寝床となる。若者は街に移住し、高齢者ばかりの限界集落が増加。子供の数は年々減り、自治会事や村という共同体を維持する共同作業すら賄えない村々も出てきている。 一方で、全国的には農的暮らしが静かなブームとなっている。より自然豊かな環境で子育てしたり、自給的暮らしを始めたり、より自分らしく生きる為の生業を創ったりして暮らす人が増えてきている。子育て世代を中心とした、農的暮らしを求める人々が農村部に移住することは、天竜区の抱えている問題を創造的に解決する可能性を大いに秘めている。 当カンファレンスでは、農的暮らしを実践する人々が全国的規模で春野町に集まる機会を作り、自然環境を活かす暮らしや生業、先進的な地域おこしの事例や考えなどを多くの人々と共有する。これにより、天竜区の豊富な自然資源を活かし、より豊かで幸せな暮らしと地域社会を創造していく為のヒントを得て、これを実践していく仲間づくりを目的とするものである。

事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	8月30日～9月1日の2泊3日間でカンファレンス(会議)を開催。都市と山間部の交流人口の増加、山間部への移住促進、また暮らしの質の向上を目的とした各種講座やワークショップ、マーケットを開催する。会場は、春野町の「春野山の村」。標高600m、自然の湧水を使ったお風呂やかまど料理を体験できる施設で、大自然の広がる奥春野の魅力を発信する。 具体的には、各地域の先進的地域おこしの事例紹介。地域おこし協力隊を中心とした若者の活動事例の紹介。持続可能な林業経営手法の紹介。親子で楽しむ地元の食材を使った料理体験。地元の産品を販売するマーケット開催などを行う。これらの講座やワークショップは、すべて地域の暮らしの質の向上や、新たな雇用の促進、人口増加による担い手の創造につながる内容であり、地域活性化のメリットが非常に大きい。また、講師として地元春野町の農家や天竜区の林業家の方々に、農業や自伐林業について話をしたり、マーケットに出店をして頂く予定。 対象者は、安心・安全な食、農、環境問題、田舎暮らし、自然と調和した循環型の暮らしや地域作りなどに興味のある親子連れや学生、地元の人々にも広く呼びかけ、春野町活性化のきっかけづくりを目指す。広報は、ホームページ、チラシ、SNSによって行う。
事業効果	中山間地域で農的暮らしの情報発信を行うことによって、都市部から山間部、農村部への交流人口、移住人口が増加することが期待される。それにより、疲弊した地域経済、高齢化した地域社会を創造的に活性化・再生していくきっかけをつくる。 さらに、多くの若者が全国的規模で春野町に集結し、情報交換することで、天竜区の魅力の発信、農的資源の再評価や新しい活用方法、スモールビジネスの創造などが期待される。講座やワークショップの講師もより天竜区域内の人に多く担ってもらうことで、山間地域の魅力を発信する。 長期的ビジョンとしては、行政や大学機関、企業などとも連携し、子育て世代も高齢者も安心して暮らせる地域づくりにつながっていくことが期待される。
備考	

第2号様式（第6条関係）

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	1,200,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	3,000,000	

2 支出の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費	730,000	◎特別講師謝礼 ¥50,000 x 2名 = ¥100,000 ¥100,000 x 2名 = ¥200,000 ◎講師謝礼 計30名 x ¥5,000 = ¥150,000 ◎演奏者謝礼 ¥100,000 x 1組 = ¥100,000 ¥50,000 x 1組 = ¥50,000 ¥5,000 x 1組 = ¥5,000 ◎音響スタッフ謝礼 ¥75,000 ◎舞台設営スタッフ謝礼 ¥50,000

賃金	741,312	◎スタッフ賃金 計 24 名 x ¥858 x 12h x 3 日間 = ¥741,312
旅費	0	
需用費	20,000	文具及び消耗品購入費、印刷費等、燃料費
役務費	20,888	保険代、チラシ郵送費、切手代金
委託料	620,000	◎パンフレット・チラシ デザイン料 ¥300,000 ◎パンフレット・チラシ印刷費 ¥100,000 ◎web ページ制作及び管理費 ¥100,000 ◎夕食交流会調理委託料 ¥120,000
使用料及び賃借料	814,000	◎宿泊料 ¥3,000 × 110 人 = ¥330,000 ◎施設利用料 (体育館、宿泊棟、厨房等) ¥400,000 ◎テントレンタル費 ¥1,000 x 3 張 x 3 日間 = ¥9,000 ◎バスチャーター費 ¥25,000 x 3 日間 = ¥75,000
原材料費	53,800	◎8/30 夕食交流会、8/31・9/1 朝食にて、地場産品を PR するための食材購入費 島田農園 ¥13,500 山下農園 ¥13,300 ジビエ工房ジミート ¥13,500 白澤農園 ¥13,500
計	3,000,000	

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	Love Farmers Conference 実行委員会		
事務所の所在地	（ 専用事務所 ・ <u>住居兼用</u> ・ その他 ）		
	電 話		F A X
	ホームページ	http://www.lovefarmersconference.com/	
代表者役職・氏名	理事（共同代表） 金子美登 契約担当理事（共同代表） 天野圭介 会計担当理事（共同代表） 八田謙太郎		
担当者連絡先	氏 名	天野圭介	
	電 話		
	F A X		
	Eメール		
設立年月日	平成27年10月1日		
会員数	3名		
団体の目的	本会は日本の有機農業の発展のために、「ラブファーマーズカンファレンス」の開催を通じて、有機本来の持つ良さを共に学び、有機的ネットワークを構築することを目的とする。		
主な活動内容	(1) 有機的ネットワークを構築するための会議「ラブファーマーズカンファレンス」を開催する。 (2) 「ラブファーマーズカンファレンス」の開催を通じて、ネットワークを構築する。 (3) その他、目的の達成に必要な活動を行う。		

※必要に応じて、団体の詳細がわかる資料を別途添付

R1. 7. 25 天竜区協議会
天竜区まちづくり推進課

1 経過及び今後の予定

■R1. 6. 17 第1回浜松市地域公共交通会議

- ・各路線の代替運行について承認

■説明会予定

(共通)

- ・R1. 7. 25 天竜区協議会
- ・R1. 8. 5 天竜区自治会連合会役員会

(北遠本線)

- ・R1. 7. 31 水窪まちづくり協議会
- ・R1. 8. 19 龍山地区自治会長会議
- ・R1. 8. 22 水窪地区自治会長会議
- ・R1. 9. 上 佐久間まちづくり協議会

(阿多古線)

- ・熊地区自治会長会議 (調整中)
- ・上阿多古地区自治会長会議 (調整中)
- ・下阿多古地区自治会長会議 (調整中)
- ・その他 (サロン等) (随時)

2 路線図



3 運行概要

北遠本線

現行 (～R1. 9. 30)

■運行事業者

遠州鉄道㈱

■運行経路

水窪町～西鹿島駅

■運行回数

西鹿島駅方面 5 便、水窪方面 5 便

■運休日

なし

■使用車両

大型バス (60 人)

■運賃

120 円～690 円



利用者数 50,640 人 (H30 年度補助申請時)

変更後 (R1. 10. 1～)

■運行事業者

(有)水窪タクシー

■運行経路

水窪町～西鹿島駅

■運行回数

西鹿島駅方面 4 便、水窪方面 4 便

■運休日

年末年始 (12/29～1/3)

■使用車両

中型バス (22 人)

■運賃

エリア制運賃 (200 円～800 円)



阿多古線

現行 (～R1. 9. 30)

■運行事業者

遠州鉄道㈱

■運行経路

くんま水車の里～西鹿島駅～山東

■運行回数

平日・開校日

西鹿島駅方面 8 便、熊方面 7 便

平日・閉校日、土日祝

西鹿島駅方面 7 便、熊方面 7 便

■運休日

なし

■使用車両

大型バス (60 人)

■運賃

120 円～690 円

■運行形態

定時定路線



利用者数 71,224 人 (H30 年度補助申請時)

変更後 (R1. 10. 1～)

■運行事業者

遠鉄タクシー㈱

■運行経路

くんま水車の里～西鹿島駅

■運行回数

平日

西鹿島駅方面 8 便、熊方面 8 便

土日祝

西鹿島駅方面 7 便、熊方面 7 便

■運休日

なし

■使用車両

小型ジャンボ車両 (10 人)

■運賃

距離制運賃 (200 円～600 円)

■運行形態

デマンド運行 (事前予約による運行)



4 時刻表と変更点

(1) 北遠本線

水窪町 ⇒ 西鹿島駅

バス停名	1便	2便	3便	4便
水窪町	6:45	9:10	12:53	15:53
§				
山東	8:02	10:29	14:13	17:12
§				
西鹿島駅	8:17	10:42	14:26	17:25

西鹿島駅 ⇒ 水窪町

バス停名	1便	2便	3便	4便
西鹿島駅	9:50	12:11	16:25	18:25
§				
山東	10:03	12:24	16:39	18:39
§				
水窪町	11:23	13:46	18:00	19:59

※現行 西鹿島駅発→水窪町行き 6:45=減便(平日・土日祝)
水窪町発→西鹿島駅行き 18:31=減便(平日・土日祝)

◎路線・バス停変更箇所
(赤色点線を廃止→青色線に変更)



◎廃止バス停：中瀬、島、間庄口、河内沢、月
理由：利用実態がないため。

(2) 阿多古線

平日

くま水車の里 ⇒ 西鹿島駅 方面

バス停名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
くま水車の里	6:10	7:00	8:30	9:15	13:30	14:15	16:15	
§								
あたご診療所	6:31	7:21	8:51	9:36	13:51	14:36	両島	16:36
§								
西鹿島駅	6:53	7:56	9:21	10:06	14:21	15:06	16:06	17:06

西鹿島駅 ⇒ くま水車の里 方面

バス停名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
西鹿島駅	7:00	8:15	12:00	13:00	15:15	16:10	18:00	19:35
§								
あたご診療所	7:35	8:45	12:30	13:30	15:45	16:40	18:33	20:05
§								
くま水車の里	7:56	9:06	12:51	13:51	16:06	17:01	18:54	20:26

土・日曜日、祝日

くま水車の里 ⇒ 西鹿島駅 方面

バス停名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便
くま水車の里	6:15	8:15	9:15	11:30	14:45	16:15	
§							
あたご診療所	6:36	8:36	9:36	11:51	15:06	森志寺上	16:36
§							
西鹿島駅	7:06	9:06	10:06	12:21	15:36	16:23	17:06

西鹿島駅 ⇒ くま水車の里 方面

バス停名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便
西鹿島駅	8:00	10:00	13:00	15:00	16:00	18:00	19:35
§							
あたご診療所	8:30	10:30	13:30	15:30	森志寺上	18:33	20:05
§							
くま水車の里	8:51	10:51	13:51	15:51	18:54	20:26	

◎阿多古線「事前予約方法」

- ・予約専用ダイヤル：053-472-8451
- ・受付時間：午前8時から午後5時
(7日前から当日の2時間前までに電話にて予約)
- ・予約内容
 - ①名前
 - ②乗車人数
 - ③利用日
 - ④乗車バス停と時刻
 - ⑤降車場所
 - ⑥帰りの予約

◎新規バス停設置「あたご診療所」



◎バス停名称変更
現「あたご診療所」→「あたご診療所入口」